

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公表番号】特表2011-524352(P2011-524352A)

【公表日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-513001(P2011-513001)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/426 (2006.01)  
 C 0 7 D 277/20 (2006.01)  
 C 0 7 D 277/34 (2006.01)  
 C 0 7 D 417/12 (2006.01)  
 C 0 7 D 417/04 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/427 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4439 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 19/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/16 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 31/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 7/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/08 (2006.01)  
 A 6 1 K 49/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/426  
 C 0 7 D 277/34 C S P  
 C 0 7 D 277/34  
 C 0 7 D 417/12  
 C 0 7 D 417/04  
 A 6 1 K 31/427  
 A 6 1 K 31/4439

A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	19/04	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	13/10	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 0 1
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	3/08	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 K	49/00	A

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年12月6日(2013.12.6)

## 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

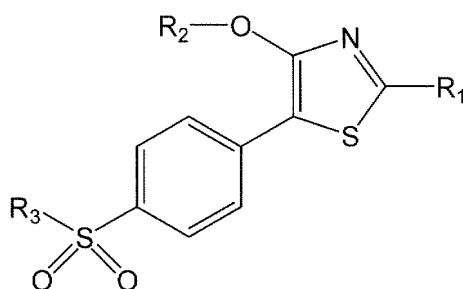
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

急性または慢性炎症性疾患の治療用医薬組成物であって、  
前記急性または慢性炎症性疾患が、血清陽性または血清陰性慢性多発性関節炎、多発性硬化症、肝炎、敗血症、敗血症性ショック、全身性エリテマトーデス、およびインスリン症から選択されるものであり、

式 ( I ) の化合物：

## 【化 1】



(I)

[ 式中、

$\text{R}_1$  は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキル、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$  シクロアルキル、ハロゲンで場合により置換されていてもよい 5 ～ 8 員のアリール、および 3 ～ 8 員のヘテロシクリルから選択されるものであり；

$\text{R}_2$  は、酸素原子を 1 個含む 3 員ヘテロシクリルで場合により置換されていてもよい  $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキル、および  $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$  シクロアルキルから選択されるものであり；

$\text{R}_3$  は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキルラジカルである]

またはその薬学的に許容される塩、またはその溶媒和物と、少なくとも 1 種の薬学的に許容される担体、アジュバントおよび / またはビヒクルとを含んでなることを特徴とする、医薬組成物。

## 【請求項 2】

前記慢性炎症性疾患が、血清陽性または血清陰性慢性多発性関節炎である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 3】

前記慢性多発性関節炎が、リウマチ様関節炎である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 4】

$\text{R}_1$  が、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキルである、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 5】

$\text{R}_1$  がメチルである、請求項 4 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

$\text{R}_2$  が、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$  シクロアルキルである、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 7】

$\text{R}_2$  がシクロペンチルである、請求項 6 に記載の医薬組成物。

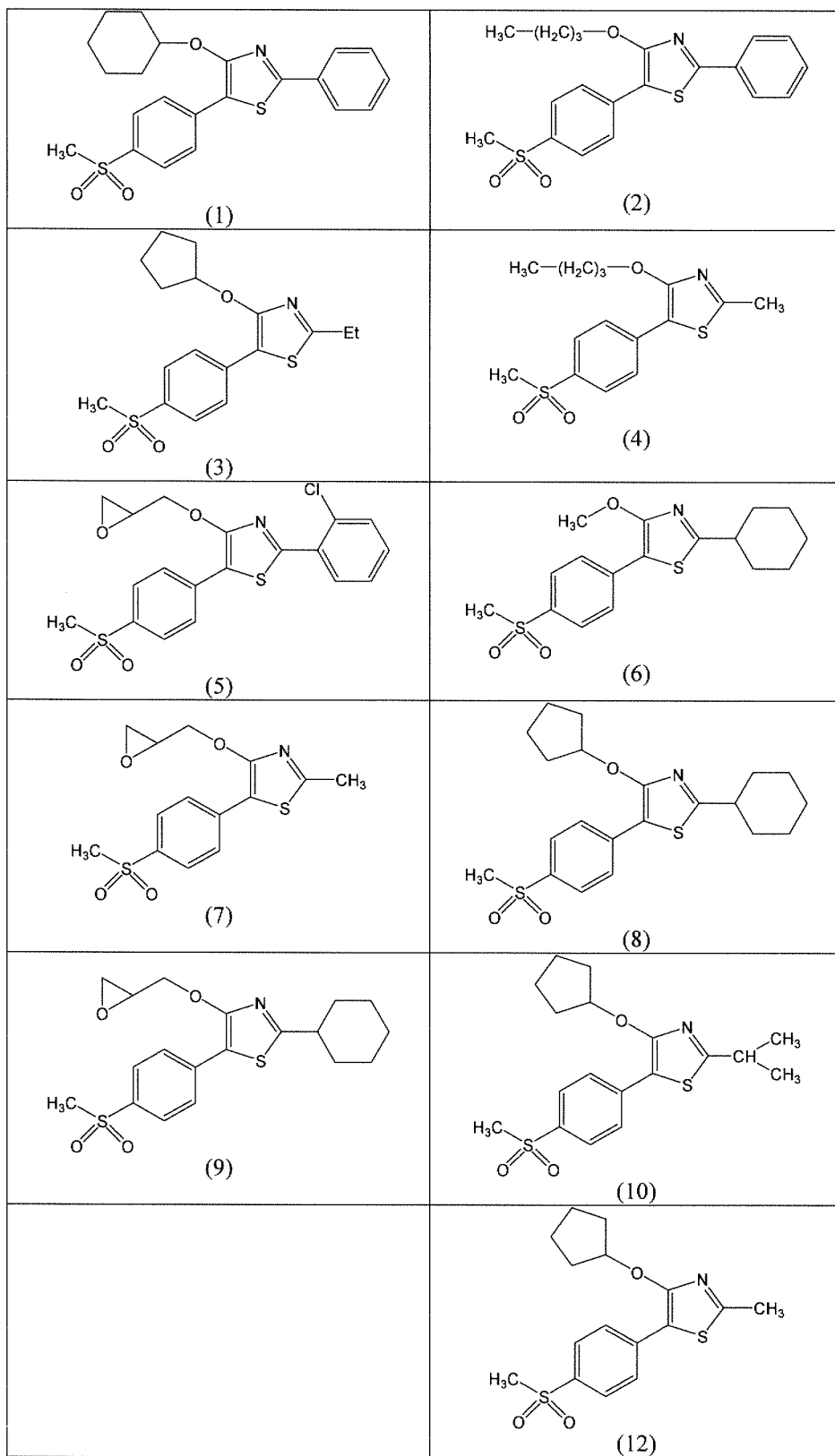
## 【請求項 8】

$\text{R}_3$  が、メチルである、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

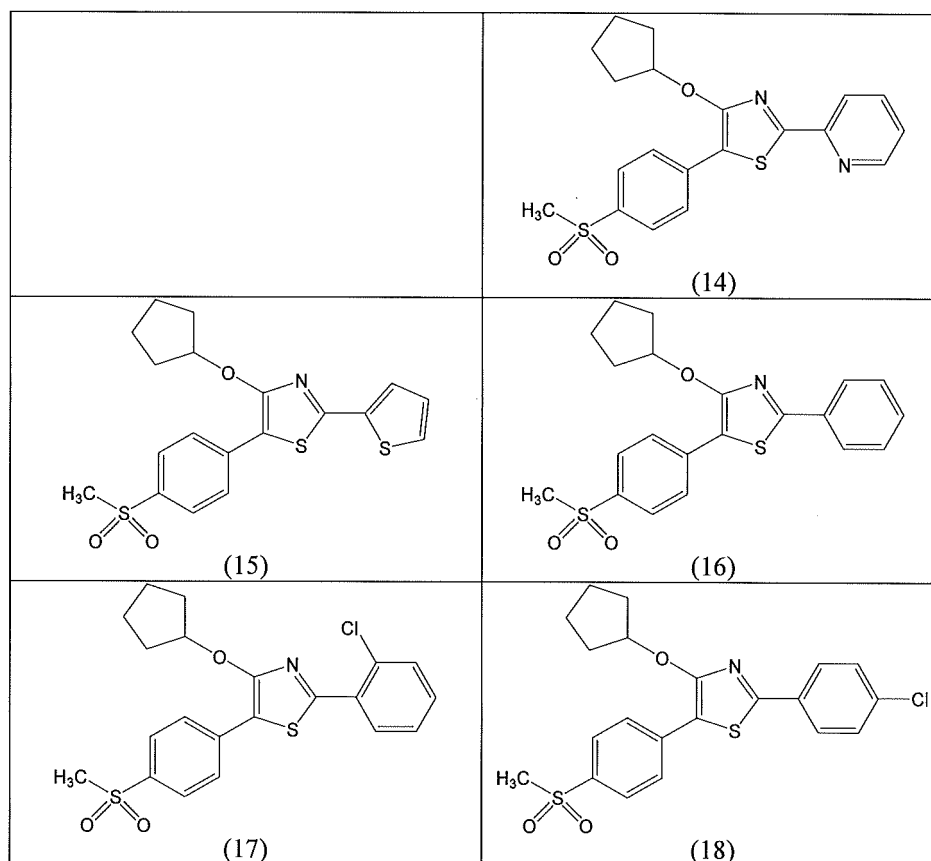
## 【請求項 9】

前記式 ( I ) の化合物が、以下の化合物から選択されるものであるか：

## 【化 2】



## 【化 3】

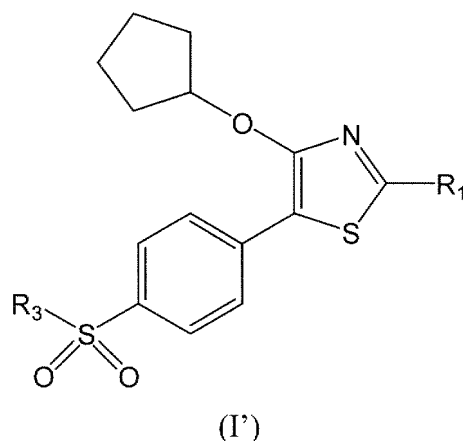


またはその薬学的に許容される塩、またはその溶媒和物である、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 10】

式 (I') の化合物：

## 【化 4】



[ 式中、

$R_1$  は、 $C_1 \sim C_6$  アルキル、 $C_3 \sim C_8$  シクロアルキル、ハロゲンで場合により置換されていてもよい 5 ～ 8 員のアリール、および 3 ～ 8 員のヘテロシクリルから選択されるものであり；

$R_3$  は  $C_1 \sim C_6$  アルキルラジカルである ]

またはその薬学的に許容される塩、または溶媒和物。

## 【請求項 11】

$R_1$  が、 $C_1 \sim C_6$  アルキルである、請求項 10 に記載の化合物。

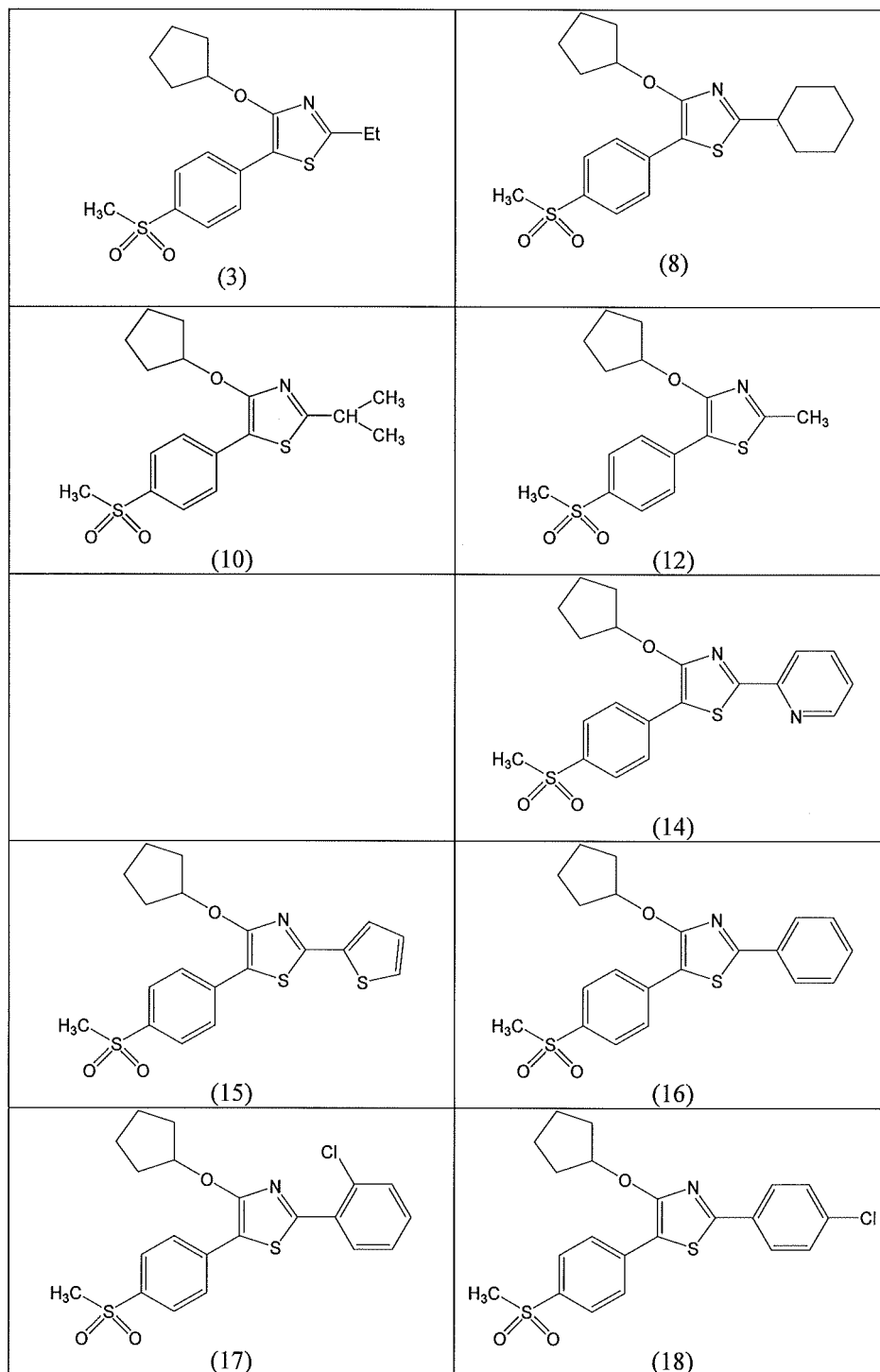
## 【請求項 1 2】

$R_1$  がメチルである、請求項 1 1 に記載の化合物。

## 【請求項 1 3】

下式の化合物から選択される、請求項 1 0 に記載の化合物：

## 【化 5】



またはその薬学的に許容される塩、または溶媒和物。

## 【請求項 1 4】

請求項 1 0 ~ 1 3 のいずれかで定義されている式 (I') の化合物またはその薬学的に許容される塩、または溶媒和物ならびに少なくとも 1 種の薬学的に許容される担体、アジュバントおよび / またはビヒクルを含んでなる医薬組成物。

## 【請求項 15】

薬剤として使用される、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に定義されている式 (I') の化合物。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

用語「シクロアルキル」は、飽和または部分的に飽和しており、炭素原子と水素原子からのみなる安定な 3 ~ 8 員環ラジカル を指し、例えば、シクロヘキシルまたはシクロペンチルが挙げられる。明細書で特に断らない限り、用語「シクロアルキル」は、水素、 $C_1 \sim C_6$  アルキルラジカル、ハロ、ヒドロキシル、 $-N(R_3)(R_4)$  (式中、 $R_3$  および  $R_4$  は独立して水素および直鎖または分岐鎖  $C_1 \sim C_6$  アルキルラジカルからなる群から選択される) からなる群から独立的に選択される少なくとも 1 つの置換基により置換されていてもよいシクロアルキルラジカルを含むことを意味する。